

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて！～

合格発表

3月25日に第111回薬剤師国家試験の合格発表が行われました。合格者数は昨年より415人少ない8,749人で、ついに9,000人を切りました。そもそも受験者自体が536人減少しているため、その影響が大きいと思います。合格率は全体が68.49%で、内訳は新卒86.25%、既卒41.33%で、新卒が微増、既卒が微減となりました。

今年の国家試験受験大学は岐阜医療科学大学と国際医療福祉大学福岡薬学部で1期生が輩出され、76校となりました。ただし、徳島文理大学は徳島の本校と香川校の合算で発表され、国際医療福祉大学は福岡薬学部と別々に発表しており、受験大学数は実質77校になります。来年はさらに2校の1期生が加わり、実質79校まで増える見込みです。

一方、出願者1万4,261人に対して受験者は1万2,774人。この差である1,487人の大半は体調不良ではなく「卒業留年」（卒業延期）によるものです。出願前に卒業留年が決まる大学もあるため、実際の人数はさらに多くなるのが実態です。

昨年に姫路獨協大学が、今年に医療創生大学（旧いわき明星大学）、来年に城西国際大学が薬学部の学生募集を停止することを発表しています。まだ1期生を輩出していない大学が順天堂大学と国際医療福祉大学成田校の2校あり、81校まで増えて3校が減ります。定員割れが続く中で募集停止に踏み切る大学はさらに増えることになるでしょう。

しゃっちょうは行く！



メディアセレスクール
ファウンダー

児島 恵美子